

# “まち”をじっくり見てみよう!

『街角図鑑』『街角図鑑 街と境界編』  
三土 たつお/編著 実業之日本社



よく見かける、でも特に気にしたことはない。マンホールやポストなど、街のそんなものたちの鑑賞方法を詳しく解説! 「図解」⇒「生態」⇒「なかま」と読み進めていくうちに、不思議と何だか愛着がわいていく。

まずはパイロンから、さあ、どうぞ



『日本の美しい町並』

森田 敏隆/写真 光村推古書院



かやぶき屋根に雪が残る宿場町、古風な店が道に並ぶ商家町、黄金に輝く稲穂が広がる山村集落、ライトアップされレトロな雰囲気、漂う温泉町、なんだか夢を見ているようだ。

『干す 日本の天日干しをめぐる』

西村 豊/写真・文 光村推古書院



各地で干される様々なもの。都心では見られなくなった風景写真に、なぜか懐かしいと感じ見入ってしまう。干し柿の民家の様は圧巻だ。片隅の文章も小気味いい。



『ヨーロッパの看板 お気に入りの街角』

上野 美千代/写真・文 光村推古書院



なんて書いてあるかは分からない。けれど、なんだかおしゃれ。見るとなんだか楽しくなってくる。うん、それでいいじゃないか!

『DVD なるほど習志野 令和元年9月号 まち歩きを楽しもう!』

～習志野まちかど美術館～

習志野市



習志野市のまちかどには54の彫刻作品が設置されています。このDVDではそのうち9つの作品を「菊田公民館だより」編集委員の方達で紹介してくれます。

編集後記 ティーンズレター第49号はいかがでしたか? 次回は春頃にお会いしましょう!

(10月から雑誌『nicola』(ニコラ)の受け入れを始めました! 輝く笑顔、あふれる若さがまぶしいです。

なお雑誌『Seventeen』(セブンティーン)は10月号をもって月刊発行終了となりました。(ココ)

のんびり街を歩き回るのが好きです。ふらっと通ったことのない道を歩くことが多いのですが、方向音痴なのでいたい迷って帰ってきます。(茶々)

2021年11月発行

# Teens

習志野市立中央図書館  
習志野市本大久保 3-8-19  
TEL:047-475-3213  
ホームページ



<https://www.narashino-lib.jp>

# Letter

ティーンズレター  
VOL.49





# TEENS CORNER BOOK NABI



## 街では今日も何かが起こる?!

### まずはここから! 「風早の街」

「風早の街の物語シリーズ」 村山 早紀/著

風早——それは海辺にある小さな街。学校があって、住宅地があって、駅の近くに商店街がある。港に古びた洋館が立ち並び、とっても素敵な場所なのです。



『コンビニ たそがれ堂』ポプラ社

既刊 10冊!

「探し物が見つからない? なら、たそがれ堂に行くといい。あそこならきっと、見つかるよ」

風早の街には、不思議なコンビニがある。名前はたそがれ堂。駅前商店街のはずれ、赤い鳥居が並んでいる辺りに、夕暮れになるとあらわれる。探し物をする人しかたどり着けないけれど、大事な物ならなんでも見つかる。お代? 5円で充分。さあ、あなたの探し物はなんですか?

『カフェ かもめ亭』ポプラ社

港のそばの洋館が並ぶ辺り。石畳を歩いていくと、レンガ造りの喫茶店に出会えます。

ようこそ、カフェかもめ亭へ。ここに来る人たちはカップを傾け、きまってマスターと話し込む。「ねえ、マスター。私のお話、聞いてくださる?」今日もまた、誰かの話し声が聞こえます。



『カフェ かもめ亭』・『カフェ かもめ亭 猫たちのいる時間』



『海馬亭通信』ポプラ社

ある日、少女は山を下りた。名前は由布。山の神「やまんば」の娘で、人間の父を探している。海のそばに建つ下宿屋・海馬亭にたどり着いた由布は、海馬亭、そして風早の街に暮らす人々と交流を深めていきます。

家族へ向けてかつて由布が書いた手紙と、それを受け取った、今を生きる誰かのお話。



『海馬亭通信』 『海馬亭通信 2』



### 「花咲小路商店街」へいらっしやい

「花咲小路商店街シリーズ」 小路 幸也/著 ポプラ社



伝統と歴史と人情味はあれど、寂れる一方の〈花咲小路商店街〉。でもそこでは一癖も二癖もある住人たちがみなさんのお越しを待っています。

元イギリス人・伝説の怪盗紳士〈Last Gentleman-Thief “SAINT”〉に謎の美女、花言葉の魔法使いに謎の男、そして言葉をしゃべる真っ赤な車。

ほのぼののご近所ミステリちよいとシリアス+ファンタジー。巻き込まれる方はもう大変。さて、今回の主人公は…?

『花咲小路四丁目の聖人』



『花咲小路 一丁目の刑事』



『花咲小路 二丁目の花乃子さん』



『花咲小路 三丁目のナイト』



『花咲小路三丁目北角のすばるちゃん』



### 「月舟町」へようこそ 「月舟町三部作+番外編」

吉田 篤弘/著



月舟町の十字になった道に四方から風が押し寄せ、そんな場所にある名のない食堂はいつしか「つむじ風食堂」と呼ばれるようになった。夜の食堂から始まる物語は静かにじんわりと心に染み入るように進んでいく。雨をふらせる研究をしたい(?)物書き、月舟町の映画館に足しげく通う無職のオーリーのおいしいスープ作りへといたる道程、映画館の犬からみた人間たち、12歳の少年が「つむじ風食堂」で大人たちと触れ合うことで考える「仕事」とは。ぜひ、ゆっくりじっくり読むことで主人公の心の機微を感じ取っててください。



『つむじ風食堂の夜』(筑摩書房)  
『それからスープのことばかり考えて暮らした』(中央公論新社)  
『レインコートを着た犬』(中央公論新社)  
番外編『つむじ風食堂と僕』(筑摩書房)



\*村山早紀さんの風早の街を舞台にした作品は、出版社の垣根を越えて他にもたくさんあります。ぜひ探してみてくださいね。\*